

本日、国土交通省からスマートＩＣの新規事業化箇所が発表され、尾張一宮ＰＡスマートＩＣ（仮称）の新規事業化が決定しました。

このたびの事業化決定は、令和４年から一宮市との２市協力体制のもとに計画検討や調整を重ねてまいりました結果がようやく実を結んだものであり、大変嬉しく思います。

今日に至るまで多大なご尽力をいただいた国土交通省、愛知県、中日本高速道路株式会社をはじめ、すべての関係機関及び市民の皆様に深く感謝を申し上げます。

日本の経済活動の根幹をなす大動脈の一つである名神高速道路へのスマートＩＣの整備により、高速道路へのアクセス向上による産業活動の支援や周辺道路における渋滞緩和、地域防災機能の強化などが図られ、本市はもとより尾張北西部地域全体の発展に大きく繋がるものと期待をしています。

また、本市におきましては、現在見直しを進めております「岩倉市都市計画マスタープラン」において、スマートＩＣに近接する地区を「地域振興拡大検討ゾーン」として新しく位置づけ、商業や地域振興を目的とした交流機能や先端産業などの新産業の立地誘導を図っていきたいと考えています。

本市にとりましてこのスマートＩＣ事業は、非常に大きなプロジェクトであり、今後市が大きく飛躍するチャンスを秘めているものと考えています。

引き続き一宮市と連携しつつ、関係機関や市民の皆様のご支援、ご協力をいただきながら、本スマートＩＣの早期の開通をめざし、事業の推進に取り組んでまいります。

岩倉市長 久保田 桂朗